



筑波大学 Japan-Expert プログラム

Japan-Expert計画 筑波大学



Japan Expert Program



筑波大学

筑波大学は、1872年に師範学校として開学し、1949年に東京教育大学、そして1973年に現在の名称で設立され、『国内的にも国際的にも開かれた大学』としての建学の理念を持っています。

“自他共栄”及び“精力善用”の言葉をモットーに1893年から通算25年間筑波大学の前身である東京高等師範学校長を務めた嘉納治五郎先生は、「柔道による人間教育」、「日本の学校教育の充実」、「留学生の積極的な受入れ」、「日本の体育スポーツの発展」に進んで取り組み、本学のみならず大学において目指すべき人材やその育成のあり方、世界における日本の役割を考える指針を示しました。

本学は、ノーベル賞と金メダルをともに輩出する世界でも稀にみる大学です。ノーベル賞は3人《物理学賞2人・化学賞1人》（朝永振一郎博士〔元東京教育大学長（前身校）〕・江崎玲於奈博士〔元筑波大学長〕・白川英樹博士〔本学名誉教授〕）が受賞し、オリンピックでは、体操競技で1968年から1976年に金メダル8個を含む計12個のメダルを獲得した加藤澤男名誉教授を筆頭に、近年では柔道競技で2大会連続の金メダルを獲得した谷本歩実選手など、63個のメダル獲得に至っています。

本学は、今後も変動する現代社会に不断に対応をしつつ、国際性豊か且つ多様性と柔軟性を持った新しい教育・研究の機能及び運営の組織の開発を進めます。

筑波大學

筑波大學於1872年作為師範學校成立・1949年更名為東京教育大學・1973年改為目前的名稱・以「面向國內外開放的大學」作為建校理念。

自1893年起在作為筑波大學前身的東京高等師範學校擔任了25年校長的嘉納治五郎先生・以「自他共榮」以及「精力善用」為座右銘・積極地倡導「通過柔道進行人的教育」、「完善日本的學校教育」、「積極接收留學生」、「發展日本的體育運動」・提出了不僅僅本校還要思考大學應培養什麼的人才及培養方式・日本在全球的作用的方針。

本校湧現出了眾多諾貝爾獎獲得者與奧運金牌選手・是一所在全球也罕見的大學。先後有3人（物理學獎2人・化學獎1人）（朝永振一郎博士〔原東京教育大學校長（本校前身）〕・江崎玲於奈博士〔原筑波大學校長〕・白川英樹博士〔本校名譽教授〕）獲得了諾貝爾獎；在奧運會上・以在體操比賽中獲得了包括1968年至1976年8枚金牌在內的共計12枚金牌的加藤澤男名譽教授為代表・包括近年在柔道比賽中連續2屆獲得金牌的谷本步實等・共獲得了63枚獎牌。

本校今後將繼續順應不斷變化的現代社會・推進富有國際性與多樣性・靈活性的新型教育與研究功能以及運營組織的開發。



Japan-Expertプログラムとは

筑波大学では、日本の文化・社会を理解し、日本マインドを持った留学生の育成を目的とし、日本国内または母国等における日本関連企業での就職を希望する留学生のために「Japan-Expert（学士）プログラム」（4年間）を開設しました。

本プログラムは、本学が文部科学省スーパーグローバル大学創成支援事業に採択されたことを契機として計画されたもので、4つのコース（アグロノミスト養成コース、ヘルスケアコース、日本芸術コース、日本語教師養成コース）を開設しています。各々のコースでは、日本に興味・関心を有する留学生を対象に、高度な日本語能力を習得の上、日本の文化・社会を理解し、農業、ヘルスケア、日本芸術、日本語教育のいずれかの専門性を身に付け、各専門分野における問題の発見・解決を日本語により可能とする専門知識と思考力を有する人材育成を目的としています。

本プログラムでは、日本語能力の要件を緩和することにより、これまで日本語能力不足で受験できなかった学生にも受験の機会を広げ、入学後は半年間の日本語教育を集中的に行います。将来的に母国と日本との橋渡しの役割を果たし得る人材になる学生の志願を期待しています。

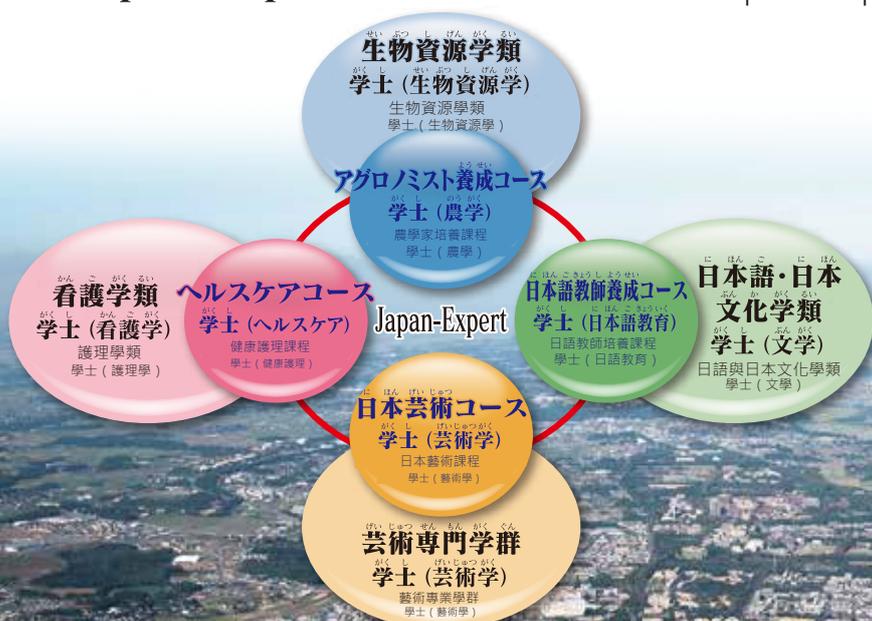
什麼是Japan-Expert計画

筑波大學以培養瞭解日本文化與社會、具有日本思維的留學生為目的，針對想到日本或本國等的日本相關企業就業的留學生開設了「Japan-Expert（學士）計劃」（4年制）。

本計劃是以本校入選日本文部科學省超級全球化大學創成支援項目為契機而策劃的，開設了4個課程（農學家培養課程、健康護理課程、日本藝術課程、日語教師培養課程）。各課程以對日本感興趣、關注日本的留學生為對象，旨在培養在學習高水平日語能力之上，瞭解日本文化與社會，掌握農業、護理、日本藝術、日語教育之一的專業知識，具有可運用日語發現與解決各專業領域問題的專業知識與思考能力的人才。

在本計劃中，通過放寬對日語能力的要求，也為此前因日語能力不足無法參加入學考試的學生擴大了參加入學考試的機會，在入學後的半年期間集中學習日語。我們期待希望將來有可能成為起到連接本國與日本橋樑作用的同學們報名。

Japan-Expertプログラムの概念図 Japan-Expert計劃的概念圖



Japan-Expert プログラム カリキュラム

1年次 一年級		2年次 二年級	
10月～3月	4月～3月	4月～3月	4月～3月

日本語集中授業
大学の授業で対応可能な日本語能力の修得

日本語集中授課
掌握可應對大學授課的日語能力

Japan-Expert 共通科目
基礎科目
(外国語や日本文化・日本事情等)
各コース専門基礎科目

Japan-Expert 共通科目
基礎科目
(外語及日本文化與日本情况等)
各課程專業基礎科目

アグロノミスト養成コース
農學家培養課程

ヘルスケアコース
健康護理課程

日本芸術コース
日本藝術課程

日本語教師養成コース
日語教師培養課程



日本語能力に不安がある、もう少し日本語能力を高めたいという場合は、グローバルコミュニケーション教育センターの日本語科目を履修するなどして、卒業までの間、日本語が学習できる環境があります。

Japan-Expert 共通科目 Japan-Expert 共通科目

<必修科目> 必修科目

● **Japan-Expert フレッシュマンセミナー**
Japan-Expert 新生研討會

筑波大學 Japan-Expert プログラム 生として充実した大学生活を送るために必要なことを学びます。

學習作為筑波大學 Japan-Expert 計劃的學生為度過充實的大學生活所需的知識。

● **Japan-Expert 総論**
Japan-Expert 總論

グローバルな視点で、日本が世界に誇る専門分野の概要を学びます。

以全球的視點・學習日本在世界引以為傲的專業領域的概況。

<選択科目> 選択科目

● **生物資源科学入門**
生物資源科學入門

● **看護生命倫理**
護理生命倫理

● **日本画実習A・B**
日本畫實習A・B

● **書A-C**
書法A-C

● **工芸工作実習A・B**
工藝製作實習A・B

● **現代日本語概論**
現代日語概論

● **言語学概論**
語言學概論

● **日本語教育概論**
日語教育概論

● **日本の歴史概論**
日本的歷史概論

● **日本の文学概論**
日本的文學概論

Japan-Expert 計劃課程

3年次 三年級	4年次 四年級
4月~3月	4月~3月
4月~9月	4月~9月



對於擔心日語能力，想再提高一些日語能力的情況，我們將提供可學習全球溝通教育中心的日語科目等，在畢業前一直有可學習日語的環境。

專門科目 專業科目

アグロノミスト養成コース 農學家培養課程

農村社会学 農村社會學
 森林資源経済学 森林資源經濟學
 応用動物昆虫学 應用動物昆蟲學
 植物栄養学 植物營養學
 アグリビジネス論 農業商務論

等

ヘルスケアコース 健康護理課程

基礎看護学概論 基礎護理學概論
 感染対策看護論 感染對策護理論
 高齢者ヘルスプロモーション論 老年人健康促進論
 国際保健学 國際保健學
 フィジカルアセスメント 體格評估

等

日本芸術コース 日本藝術課程

現代美術論 現代美術論
 木材造形論 木材造形論
 日本書道史 I・II 日本書道史 I・II
 漆芸技法演習 漆藝技法演練
 環境・建築デザイン演習 環境與建築設計演練

等

日本語教師養成コース 日語教師培養課程

日本語教育 I-III 日語教育 I-III
 日本語の音声・音韻 日語的語音與音韻
 世界の言語と日本語 世界的語言與日語
 日本の科学と技術の文化史 日本的科學與技術文化史
 日本の伝統文化 日本的傳統文化

等

アグロノミスト養成コース

取得学位：学士（農学）

取得学位：学士（農学）

高い技術を有する日本の農林業技術を習得

學習高水平的日本農林業技術

食料生産、省エネルギー、環境保全に関して世界的に高い技術を有する日本の農林業技術を海外で活用する道を広げ、第一次産業に係るグローバル課題の解決に貢献するための基礎知識・専門性を兼ね備え、日本の最先端技術を活用した国際技術協力として日本国内及び海外で活躍できる人材を育成します。さらに、日本国内で就業可能なレベルの日本語教育を提供することにより日本国内のグローバル企業や関連産業などで即戦力となる人材育成を目指します。

培養能夠將糧食生産、節能、環境保護方面擁有全球高水平技術的日本的農林業技術推廣到海外，兼備有助於解決第一產業相關的全球問題的基礎知識與專業性，充分利用日本尖端技術，以國際技術合作的形式活躍在日本國內外的人才。此外，通過提供可達到在日本國內就業水平的日語教育，努力培養具備在日本國內的全球化企業及相關產業等成為即戰力的人才。

育成方針 培養方針

人類の生存と、安全で豊かな生活の基盤である生物資源に関する農学的な知識を有し、地域的かつ地球的視野で、農林業に関する専門的知識の習得や農林業に関する海外協力に必要な異文化理解能力とコミュニケーション能力を有する人材の養成を目的とします。また、幅広い教養と豊かな人間性、とりわけ農林業に対する倫理を有する人材を、個性と学習意欲を伸ばしつつ養成します。

以培養具有與作為人類生存、安全與富足的生活保障的生物資源相關的農業知識，從區域與全球的視角學習農林業相關的專業性知識，具有開展農林業相關的海外合作所需的對異文化的理解能力與溝通能力的人才為目的。此外，在發展個性與提高學習熱情的同時，培養博學多識及具有豐富的人性、特別是具有農林業倫理觀的人才。



進路先 畢業生去向

農林業分野での研究者・技術者、国内外での就農・農業指導者、グローバル企業や関連産業、大学院進学等

農林業領域的研究人員、技術人員、在國內外從事農業及農業指導人員、全球化企業及相關產業、升入研究所等

在校生の声 在校生的心聲

チョウ ブンユ (中国) ZHANG WENYU (中國)

Japan-Expertのアグロノミスト養成コースは人類発展のための農業や生物について研究できるので、このコースを志望しました。入学後、最初は自分の日本語があまり上手ではなかったので、とても困りましたが、先生たちがとてもやさしく、励まし、支えてくださるので、問題ありません。筑波大学で私たちと一緒に勉強しませんか。

由於Japan-Expert農學家培養課程能夠開展有關人類發展所需的農業及生物方面的研究，因此我報了這個課程。由於剛入學時日語不太好，感覺很辛苦，但是，老師們很親切，給我鼓勵和支持，讓我克服了困難。請來築波大學和我們一起學習吧。



ヘルスケアコース

取得学位：学士（ヘルスケア）
取得學位：學士（健康護理）



体験を通して最新の医療・ケアを学ぶ

通過體驗來學習最新的醫療與護理

総合大学の特性を生かし、教養科目などを通じて日本文化の理解を促すと同時に、他学類の教員や学生との学習交流も行います。専門科目においては、理論と実践が乖離しないように、とくに学内演習では、現職の臨床看護スタッフなどを招き、最先端技術に対応できるような教育を実施します。また、インターンシップを通じて日本での実践体験を実施し、とくに附属病院や近隣の介護施設との連携によって最新の医療・ケアの体験を通した学びの機会をつくります。

充分發揮綜合大學的特性・通過文科科目等增進對日本文化的瞭解・同時・還與其他學類的教師和學生進行學習交流。在專業科目方面・為了不使理論與實踐相偏離・在校內演練中特別邀請了在職的臨床護理工作人員等進行可應對尖端技術的教育。此外・還通過實習在日本的醫療機構進行實踐體驗・特別是通過與附屬醫院及附近的護理單位合作・提供通過最先進的醫療與護理體驗進行學習的機會。

育成方針 培養方針

母国の文化・風俗・慣習を理解の上で、ヘルスケアの学問的基盤に立った政策・管理担当者、およびヘルスケア技術の開発者や教育・研究従事者として活躍する人材の養成を目的とします。なお、このコースは看護師の免許資格を取得するものではなく、ヘルスケア関連分野の医療政策のリーダーとなる人材を育成するものです。

以培養在瞭解本國的文化、風俗、習慣之上・基於健康護理的學術性基礎・作為政策與管理負責人、護理技術的開發人員及教育與研究人員等活躍於相關領域的人才為目的。另外・開設本課程的目的不是讓學生取得護師資格・而是培養成為護理相關領域醫療政策領導者的人才。



進路先 畢業生去向

ヘルスケア分野の政策・管理者、研究・教育者、健康管理関連企業の開発技術者、大学院進学等

健康護理領域的政策制定與管理人員、研究與教育人員、健康管理相關企業的開發技術人員、升入研究所等



▲筑波大学附属病院（つくばだいがくふそくびょういん）
筑波大學附屬醫院

在校生の声 在校生的心聲

テイ カイキツ（中国） ZHENG KAIYI（中國）

私は笑顔が大好きです。自分一人より、他人と一緒にいる方が楽しいです。将来は自分のためではなく、他人のために尽くしたいです。子どもと高齢者看護について勉強したくて、ヘルスケアコースに入学しました。大学4年間で、日本語と看護知識をしっかりと身につけ、卒業後、高齢者の福祉施設で働きたいです。

我很喜歡笑容。更喜歡與大家在一起分享快樂。希望今後能夠學以致用，竭盡全力幫助他人。由於我想學習有關孩子與老年人護理方面的知識，因此報了健康護理課程。我想在大學4年裡紮實地掌握日語與護理知識，畢業後到老年人福祉設施工作。



にほんげいじゅつ 日本藝術コース

しゅとくがくい がくし げいじゅつがく
取得学位：学士（芸術学）
取得学位：學士（藝術學）

にほん でんとうげいじゅつ げんだい 日本の伝統芸術や現代アートなどを学ぶ 學習日本的傳統藝術及現代藝術等

かいが こうげい しやうどう などに ほん ほんたつ でんとうげいじゅつ くわ こくさいてき ひやうが に ほん げんだい とう
絵画・工芸・書道などの日本で発達した伝統芸術に加え、国際的に評価されている日本の現代アート等といった日本
の特色ある芸術を専門的に学ぶコースです。日本芸術に関するコース独自の科目を履修するとともに、本学が開設
する教養科目において学際的・国際的視野を広げ、芸術専門学群で開設される多彩な専門科目も履修することによ
つて高い専門性と国際的に活躍できる実践力を培います。

這是一門除了學習繪畫、工藝、書法等日本高水平的傳統藝術外，還專業學習國際評價很高的日本現代藝術等日本特色藝術的課程。學生在學習有關日本藝術課程的獨自科目的同時，通過在本校開設的文科科目中擴展跨學科、國際性視野，學習藝術專業學群中開設的豐富專業科目，培養高水平的專業能力及可活躍於國際社會的實踐能力。

いくせいほうしん 育成方針 培養方針

がくさいてき こくさいてき しや たし がくりやく も じゆうなん ほんとうりやく
学際的・国際的な視野と確かな学力を持ち、かつ柔軟な発想力と
豊かな表現性を備え、日本の伝統芸能を諸外国に伝導していく教師
や創造力に満ちたアーティスト・デザイナーなど、特に日本の伝統
芸術や特色ある芸術に関する専門家の養成を目的とします。

以培養具有跨學科及國際性視野與紮實的學術能力，並且具備靈活的創意能力及豐富的表現力，能夠將日本的傳統藝術傳播到國外的教師及富有創造力的藝術家、設計師等，特別是日本傳統藝術及特色藝術方面的專家為目的。



しんろさき 進路先 畢業生去向

きょうし アーティスト・デザイナー、
企業、行政・自治体、大学教員、学
芸員・研究員、大学院進学等
教師、藝術家、設計師、企業、國
家及地方公務員、大學教師、博物館
員、研究員、升入研究所等

ざいこうせい こえ 在校生の聲 在校生的心聲

アンネ ゲーケ (ドイツ) Anne Gehrke (德國)

わたし りろん じっせん げいじゅつ きやうみ も しじょう つくばだいがく
私は理論と実践の美術に興味を持っているので、このプログラムを志望しました。筑波大学は
東京に近くて、留学生が多くて、様々な専門があるので、勉強するのにとても良い大学だと思
います。Japan-Expertプログラムはまだ始まったばかりなので、最初の学生として最善を尽くすこ
とが最も重要だと思っています。今は、たくさん日本語の授業があって大変ですが、クラスの人
数は少ないので、最高のサポートを受けることができているので嬉し
いです。

由於我對理論與實踐美術感興趣，因此報了這個計劃。築波大學離東京很近，留學生多，有各種各樣的專業，是一所很適合學習的好大學。由於Japan-Expert計劃剛剛啟動，因此，我想作為第一批學生全力以赴去努力最重要。雖然目前有很多日語課，很辛苦，但由於班級的學生少，能夠得到了最貼心的支持，我很高興。



にほんごきょうしりょうせい 日本語教師養成コース

取得学位：学士（日本語教育）

取得學位：學士（日語教育）

母国の教育機関で日本語を教える教師の育成 培養在本國的教育機構教日語的教師

母国の教育機関で日本語を教え、かつ母国の日本語教育の振興に貢献する日本語教師の育成を目的とします。入学後最初の半年は日本語の集中授業と日本事情科目等を履修し、その後は日本語・日本文化学類の授業を日本人学生と共に履修します。3・4年目には、学内での日本語教育実習や母国の教育機関・日系企業・日本国内の企業等の日本語教育に係るインターンシップに参加し、現場での実践力を養います。

以培養在本國的教育機構教日語並且為本國の日語教育振興做貢獻の日語教師為目的。在剛入學的半年時間集中學習日語及學習日本情況科目等，之後與日本學生一起學習日語與日本文化學類的課程。在第3、4年，參加校內の日語教育實習及本國的教育機構、日系企業、日本國內的企業等的日語教育相關實習，培養現場的實踐能力。

育成方針 培養方針

日本文化を理解し、日本語教育に必要な専門力を備え、国外や日系企業での就労を希望する者に母国で日本語を教える日本語教師の養成を目的とします。

以培養瞭解日本文化・具備日語教育所需的專業能力・可在本國向希望到國外及日本企業就業者教授日語的日語教師為目的。



進路先 畢業生去向

日本語教師養成の指導者、教師、企業、海外における日本語教育機関、大学院進学等

日語教師培養指導人員、教師、企業、海外的日語教育機構、升入研究所等

在校生の声 在校生的心聲

リュウ ズーウェイ (中国) Liu Ziwei (中國)

良き先生と友人に出会えます。思われた環境で勉強することができます。

日本語、日本文化に興味を持ち、国際的な環境で大学生活を送りたい方は、ぜひ日本語教師養成コースに入学してください。

在這裡能夠結交良師益友。能夠在優越的環境中學習。如果對日語、日本文化感興趣，想在國際化環境中度過大學生活，請一定到日語教師培養課程來學習。



学費等について

1年次に必要な学資等 合計：837,800円
入学料：282,000円
授業料：267,900円〔第2期分（10月～3月分）〕
※第1期分（4月～9月分）授業料 267,900円
国民健康保険料（1年分）：20,000円
1ヶ月に必要な生活費 合計：100,000円（目安）
住居費：20,000円～50,000円
食費：30,000円
教材費：10,000円
通信費：5,000円
雑費：5,000円～10,000円

關於學費等

一年級所需學費等 合計：837,800日圓
入學金：282,000日圓
學費：267,900日圓〔第2期（10月～3月）〕
※第1期（4月～9月）學費 267,900日圓
國民健康保險費（1年）：20,000日圓
毎月所需的生活費 合計：100,000日圓（大致標準）
住宿費：20,000～50,000日圓
伙食費：30,000日圓
教材費：10,000日圓
通信費：5,000日圓
雜費：5,000日圓～10,000日圓

奨学金 獎學金

本プログラムでは以下の二種類の奨学金があります。

- ・つくばスカラシップ【月額5万円】
 - ・今川 FUTURE 基金奨学金【月額8万円 入学年度のみ修学支度金5万円（1回限り）】（ヘルスケアコースのみ）
- なお、入学者全員へ給付することはできませんので、基本的には、個人で学費・生活費を賄うことができるよう、準備してください。

本計画設有以下2種奨学金。

- ・築波奨学金【毎月5万円】
 - ・今川 FUTURE 基金奨学金【毎月8万円 僅限入学年度の学習準備金5万円（僅1次）】（僅限健康護理課程）
- 另外・由於獎學金不是面向所有新生發放・因此・原則上請自己準備學費及生活費。

学生宿舎 學生宿舍

本学には60棟もの学生宿舎があります。宿舎の各居室にはベッドや洗面台等が備え付けられており、生活に必要な身の回り品等を揃えれば、生活することができます。Japan-Expertプログラム生には、日常生活の中で日本人学生との交流を通して、日本語や日本文化に対する理解を深めてほしいという思いから、原則としてグローバルヴィレッジに入居していただきます。宿舎料は、35,800円/月です。その他保証金（入居時）、光熱水料が別途かかります。



本校有60棟學生宿舍。宿舍的各房間設有床及盥洗台等・只要帶上生活必需品等即可入住生活。Japan-Expert計劃的學生如果希望通過在日常生活中與日本學生的交流・加深對日語和日本文化的瞭解・原則上可入住國際村。宿舍費為35,800日圓/月。此外・還另行需要保證金（入住時）、水電費。

サポート体制 支持體制

○プログラムコーディネーターと日本語教育コーディネーター

本プログラムには、プログラム全体をコーディネートする先生としてプログラムコーディネーターと日本語教育をコーディネートする先生として、日本語教育コーディネーターがいます。入学後半年間はこれらの先生が学習等の支援をします。また、プログラム履修生は、所属するコース（学群・学類）において各種教育支援、学生支援を受けることになります。

○本計画協調員與日語教育協調員

本計画設有專門的老師作為計劃協調員與日語教育協調員・分別負責協調本計劃整體事宜與日語教育事宜。在入學後半年期間由這些老師對學習等提供幫助。此外・本計劃的學生可在所屬課程（學群・學類）方面得到各種教育支援、學生支援。

○チューター

本学では、入学当初の留学生が、不便なく学習や日常生活が送れるように、原則として先輩がチューターとなり、留学生の支援を行う制度があります。チューターの具体的役割は、渡日時の生活立ち上げサポートを中心に、日本語会話のパートナーや書類作成の手伝いなど、生活のサポートを行うことです。

○輔導員

本校為了讓剛入學的留學生順利地度過學習和日常生活・設有原則上由學長作為輔導員對留學生進行支持的制度。輔導員的具體作用是以幫助留學生開始在日本的生活為主・提供日語會話夥伴及製作資料等方面的幫助・進行生活支持。

数字でみる筑波大学

從數字看築波大學

[教員数] [教師人數]

[2017.5.1現在]
[截至2017.5.1]

1,882

[職員数] [職工人數]

[2017.5.1現在]
[截至2017.5.1]

2,001

[大学の広さ] [大學的面積]

約

260

萬平方公尺

約260萬平方メートル (バチカン市国の約6倍)

約260萬平方公尺 (梵蒂岡城國的約6倍)

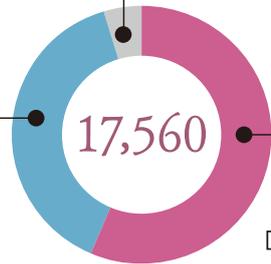
[学生数] [學生人數]

[その他]
[其他]

782

[大学院生]
[研究生]

6,834



[学群生]

[本科生]

9,944

[2017.5.1現在]
[截至2017.5.1]

[授業科目数] [課程科目數量]

[大学院]

[研究所]

7,600

[学群]

[學群]

6,000



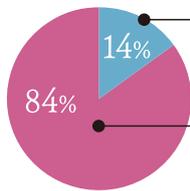
約
13,600
約13,600科目

[2016年度]
[2016年度]

[留学生数] [留學生人數]

2,426

[2017.5.1現在]
[截至2017.5.1]



[留学生]
[留學生]

[日本人学生等]
[日本人學生等]

地域別外国人留学生数 各區域留學生人數

◎アジア 亞洲	1,874
◎北米 北美	45
◎中南米 中南美	78
◎ヨーロッパ 歐洲	131
◎(旧ソ連) (原蘇聯)	136
◎オセアニア 大洋洲	12
◎中東 中東	47
◎アフリカ 非洲	103
合計 (117カ国・地域)	2,426
合計 (117個國家及地區)	

国籍等別外国人留学生数 各國留學生人數

◎中国 中國	1,180
◎韓国 韓國	157
◎インドネシア 印度尼西亞	116
◎台湾 台灣	78
◎ベトナム 越南	78
◎アメリカ合衆国 美國	42
◎マレーシア 馬來西亞	40
◎タイ 泰國	39
◎バングラデシュ 孟加拉國	38
◎インド 印度	36
◎その他 其他	622

[オリンピック・パラリンピック] [奧運會與殘奧會]

筑波大学は、前身校である東京師範学校、東京教育大学からのスポーツの長い歴史において、在校生、卒業生がオリンピック・パラリンピックに出場し、栄光に輝いています。

築波大學在從其前身的東京師範學校、東京教育大學開始的體育運動悠久歷史中，有眾多在校生及校友參加奧運會與殘奧會並綻放了光彩。

[2016.12.1現在]
[截至2016.12.1]

[金メダル]

[金牌]

24

[銀メダル]

[銀牌]

20

[銅メダル]

[銅牌]

19

オリンピック での メダル個数

在奧運會上獲得的
獎牌數量

[ノーベル賞受賞者] [諾貝爾獎獲得者]

朝永振一郎 [元東京教育大学長] (物理学賞1965)

朝永振一郎 [原東京教育大學校長] (物理學獎1965)

江崎玲於奈 [元筑波大学長] (物理学賞1973)

江崎玲於奈 [原築波大學校長] (物理學獎1973)

白川英樹 [本学名誉教授] (化学賞2000)

白川英樹 [本校名譽教授] (化學獎2000)

[設立50年以内の 世界大学ランキング (2017)]

[建校50年以下の世界大學排名 (2017)]

第

20⁰ 名

しゅつがんにしかく にほんごのうりよく
出願資格 (日本語能力) 報名資格 (日本語能力)

コース 課程	JLPT	J.TEST ※1	TOP-J ※2	AP ※3
アグロノミスト養成コース 農學家培養課程	N3レベル以上 N3水平以上	400点以上 400分以上	中級A以上 中級A以上	5段階評価の5で合格した者 以5分制的5分成績通過者
ヘルスケアコース 健康護理課程	N3レベル以上 N3水平以上	400点以上 400分以上	中級A以上 中級A以上	5段階評価の5で合格した者 以5分制的5分成績通過者
日本芸術コース 日本藝術課程	N3レベル以上 N3水平以上	400点以上 400分以上	中級A以上 中級A以上	5段階評価の5で合格した者 以5分制的5分成績通過者
日本語教師養成コース 日語教師培養課程	N2レベル以上 N2水平以上	600点以上 600分以上	中級A以上 中級A以上	5段階評価の5で合格した者 以5分制的5分成績通過者

- ※1 J.TEST実用日本語検定 ※1 J.TEST実用日語検定考試
 ※2 TOPJ実用日本語運用能力試験 ※2 TOPJ実用日語運用能力考試
 ※3 The AP Japanese Language and Culture Exam



「入学式での応援部WINSによるエール」
 聲援部WINS在入學典禮上吶喊鼓勵



筑波大学
 Japan-Expertプログラム事務局
 ✉ jp-expert@un.tsukuba.ac.jp
 日本語 <http://jp-ex.tsukuba.ac.jp/>
 英語 <http://jp-ex.tsukuba.ac.jp/en/>

筑波大學
 Japan-Expert計劃事務局
 ✉ jp-expert@un.tsukuba.ac.jp
 日語 <http://jp-ex.tsukuba.ac.jp/>
 英語 <http://jp-ex.tsukuba.ac.jp/en/>

※表紙の「筑波大学Japan-Expertプログラム」は日本芸術コース長の中村伸夫教授（専攻：書）によるものです。
 封面的“筑波大学 Japan-Expertプログラム”由日本藝術課程主任中村伸夫教授（專業：書法）創作。